



みのやま病院デイケアセンター

感謝

2026年2月号

【参加型季節装飾について】

いつもみのやま病院デイケアセンターをご利用頂きありがとうございます。昨年より新たな取り組みとして、利用者さん参加型のフロア季節装飾を始めました。

参加型の季節装飾とは、スタッフだけでなく利用者さんも参加していただき、みんなでデイケアフロアの装飾を行う取り組みです。ご協力をいただいた利用者さんには、大変感謝申し上げます。

当デイケアは、自立度が高く、自由に外の活動を楽しめる方だけではなく、屋内での活動が中心の方も多くいらっしゃいます。そのような方でも、デイケアに来られる時に、①季節の変化を感じてもらえること。②自らもそこに参加して変化を楽しめること。そして、③デイケアに行くことが一つの楽しみになること。この三つを主としたものとして取り組みを考えました。初めは書面だけの案内で、あまりに参加者が少なければ、スタッフから積極的に声掛けを行うつもりでしたが、驚くことに早々に参加していただける利用者さんがとても多く、折り紙や、趣味の編み物作品などを持参してくださいました。利用者さんからは「自分の作ったものを飾ってくれて嬉しい」「デイが華やかになって良い」とポジティブな意見を多くいただいております。これからも楽しい取り組みを考えていきます。

今年も宜しくお願い致します。



村中・岡島のよっこら通信

【節分の豆知識（マメだけに）】

旧暦の新年（大晦日）に邪気を払うための「追儼（ついでん）」という儀式が起源とされており、本来は季節の節目（立春・立夏・立秋・立冬）の前日を表す言葉とされます。

○なぜ豆をまくのか？

➤人間の命を支える五穀（米・麦・粟・黍・豆）の中で一番大きく、力強いと考えられていたからマメをまく↓魔目（まめ）を滅ぼす、魔（ま）を滅（め）する

鬼の目に大豆を投げて退治した話も

○なぜ炒り豆を使うのか？

➤豆を炒る↓魔の目を射（い）る、巻いた豆から芽が出るのは縁起が悪いため炒り豆を使う

○なぜ豆まきに枀を使うのか？

➤枀（ます）を使う↓ますます力が増す

他にも節分に自分の年齢+1粒の豆を食べるのは、来年の無病息災や長寿を願うためだったり、ワタナベさんは平安時代の武将「渡辺綱」が鬼を退治したことで恐れられているから豆まきをしなくてもよかったり、苗字に「鬼」が含まれる方々やお寺では豆まきはするものの、「鬼は外」とは言わないとか。

ちなみにことわざの「来年の話をする」と鬼が笑う”は本来、将来のことは予測できないから、あれこれ計画したり断定的な話をして意味がない、という意味が一般的ですが、中には来年の準備をきちんとされてしまうと節分の準備も整ってしまうから、それを恐れた鬼が笑って妨害しようとしているのではないか、という解釈もあるそうですよ。

ありがとうございました